

アセアン+3 文化遺産フォーラム2015

東南アジア諸国 と共に歩む

～ 多様な文化遺産の継承と活用 ～



平成27年12月13日(日) 9:30 ~ 18:00 (開場9:00)

東京国立博物館 平成館大講堂 (東京都台東区上野公園13-9)

入場無料

〈申し込み制〉定員300名



主催：文化庁、国際交流基金アジアセンター、文化遺産国際協力コンソーシアム

後援：外務省、(独)国立文化財機構東京文化財研究所、(独)国立文化財機構奈良文化財研究所、(独)国際協力機構、(公財)住友財団、(公財)三菱財団、(公財)トヨタ財団、(公財)文化財保護・芸術研究助成財団、(公財)ユネスコ・アジア文化センター文化遺産保護協力事務所、(公社)日本ユネスコ協会連盟、国立民族学博物館、日本イコモス国内委員会、NHK、朝日新聞社、産経新聞社、東京新聞、日本経済新聞社、毎日新聞社、読売新聞社

東南アジア諸国と共に歩む

～多様な文化遺産の継承と活用～

平成27年12月13日(日) 9:30～18:00 (開場9:00)

入場無料 定員300名 日英同時通訳

お申し込み制。席に余裕がある場合は当日参加も受け付けております。
参加ご希望の方は以下の申し込みフォームからお申し込みください。

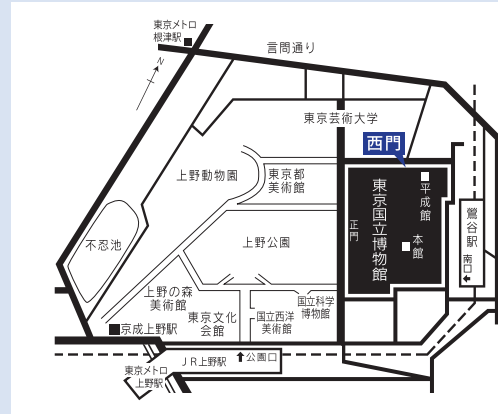
<http://bunkaisan2015.net/>

※FAXでの申し込みも可。氏名(ふりがな)・ご所属・電話番号・メールアドレスをご記入の上、「フォーラム参加希望」とお書き頂き、12月4日必着で事務局宛にお送りください。

東京国立博物館 平成館大講堂

(東京都台東区上野公園13-9)

◆JR上野駅公園口から徒歩20分 ◆JR鶯谷駅南口から徒歩15分



博物館西門よりご入場ください

東南アジアでは、近年、文化遺産の活用だけでなく、その保存や修復活動への関心が高まっています。文化の考え方、保存修復の技術、継承の方法、それに携わる人材の交流など、地域の協力関係をこれまで以上に深化させ、21世紀にふさわしいアジア文化の未来を切り拓くことが必要とされています。

本フォーラムでは、アセアン各国とこれらの国をともに支援する日中韓の3ヶ国から、政治・経済の枠組みを超えて、文化遺産に携わる関係者が一堂に会します。そして各国の有形・無形の文化遺産保護の実情やそこに根づく精神を自由に語り合い、意見を交換します。

プログラム

午前

- 開会挨拶** 青柳 正規 (文化庁 長官)
安藤 裕康 (国際交流基金 理事長)
前田 耕作 (文化遺産国際協力コンソーシアム 副会長/和光大学 名誉教授)
- 基調講演1** **文化遺産は民族アイデンティティの結晶である**
～「アセアン+3」の文化発展戦略にむけて～
石澤 良昭 (文化遺産国際協力コンソーシアム 会長/上智大学 特別招聘教授)
- 基調講演2** **アセアン地域の文化遺産(仮題)**
ウィラ・ローポチャナラット (タイ王国 文化大臣)
- セッション1** **多様な文化遺産、その魅力を活かす工夫と方策**
参加国：ブルネイ、ラオス、マレーシア、フィリピン、シンガポール
司会：宮崎 恒二 (東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 教授)

休憩

午後

- セッション2** **文化遺産を受け継ぐ絆を強化し、未来へ生かす**
参加国：カンボジア、インドネシア、ミャンマー、タイ、ベトナム
司会：友田 正彦 (東京文化財研究所文化遺産国際協力センター 保存計画研究室長)
- セッション3** **文化遺産保護の多国間協力**
参加国：日本、中国、韓国
司会：上野 邦一 (奈良女子大学 国際親善教授)
- 会長総括** 石澤 良昭 (文化遺産国際協力コンソーシアム 会長/上智大学 特別招聘教授)
- 閉会挨拶** 岡田 保良 (文化遺産国際協力コンソーシアム 副会長/国士館大学イラク古代文化研究所 所長)

問い合わせ先

アセアン+3 文化遺産フォーラム 事務局

〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-5-25 西新宿木村屋ビルディング16F

東武トップツアーズ(株) 東京国際事業部新宿支店内

E-mail: apt-forum@tobutoptours.co.jp

Tel: 03-5348-3500 Fax: 03-5348-3798